

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-42	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	論Ⅲ701	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅲ		

## 1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法第2条の目的および理念を踏まえ、その目標達成を可能にし、かつ、論理・表現Ⅲに示される目標に達するため、以下を編修の基本方針としました。

### ① 3領域（やり取り、発表、書くこと）の育成に適した日常的・社会的な場面の活動を通して、本物のコミュニケーション力を育成する教科書

- ・すべての Lesson において、生徒がコミュニケーションの目的や場面を明確に意識しながら言語学習を進めることができます。
- ・コミュニケーションのモデルとしてふさわしい英語を提示し、実践的な表現に触れながら学習することができます。

### ② 失敗することを恐れずに、発信する態度を養う教科書

- ・すべての Lesson において、モデルの提示に先んじて、まず英語での発信に挑戦するコーナー Give It a Try または Brainstorming を設けることで、生徒の発信への関心、意欲を喚起することができます。

### ③ 「まねる」から一歩踏み出し、テーマを「自分ごと化」して考え、発信できる力を育む教科書

- ・Give It a Try の活動に刺激を受け、自分の頭を使って考える習慣を身に付け、「自分ごと化」して発信できるようにしています。
- ・モデルを学習したのち、同様のテーマに関するさまざまな情報（Materials for Thinking）に触れることで、自らの意見を形成しやすいようにしています。
- ・さまざまな情報の中から、自らの意見の表明に必要なものを取捨選択する力を育成できるようにしています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体	<p>① さまざまな題材を扱い、目的や場面、相手に応じて論理的、効果的に伝える方法を学ぶことで、幅広い知識と論理的な思考力を養います。(第1号)</p> <p>② 言語活動を通して、他人の価値観や意見を尊重しながら、自分の考えに基づき積極的にコミュニケーションできる態度を養います。(第2号)</p> <p>③ ペアやグループで協力して行う言語活動を豊富に用意することによって、自他を大切にし、協力し合う心を養います。(第3号)</p> <p>④ 持続可能な社会について日常生活の中で議論し、改善策を提案させる言語活動を通して、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養います。(第4号)</p> <p>⑤ 国際社会の平和と発展を目指す上で、他国との相互的で健全なコミュニケーションが一層求められる現在において、自国の伝統や文化について知り、それを他国に向けて発信する能力を養います。(第5号)</p> <p>⑥ 日本語の論理と英語の論理の違いや、日常的な常識の違いを学ぶことで、自国の文化を見つめ直すとともに、他国の文化を理解し、尊重する心をはぐくみます。(第5号)</p>	<p>① 各 Lesson の Model</p> <p>② 各 Lesson の Make Your Own</p> <p>③ 各 Lesson の Give It a Try および Make Your Own</p> <p>④ Lesson 1, Lesson 4</p> <p>⑤ Lesson 2, Lesson 7</p> <p>⑥ Lesson 3, Lesson 5, Lesson 6, Lesson 8, Lesson 9, Lesson 10 および各 Lesson の TIPS</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### ① 生徒の自立的な学びを促す取り組み

図書の構成・内容	留意点	該当箇所
巻頭 コラム 巻末	<p>① 「やり取り」という領域において、表現する際の注意事項を実例でわかりやすく示すことで、Ⅰ、Ⅱで学んできたことを見つめなおし、効果的な表現活動を行えるように配慮しています。</p> <p>② 「発表」という領域において、表現する際の注意事項や心構えをわかりやすく示すことで、Ⅰ、Ⅱで学んできたことを見つめなおし、効果的な表現活動を行えるように配慮しています。</p> <p>③ 「書くこと」という領域において、表現する際の注意事項を実例でわかりやすく示すことで、Ⅰ、Ⅱで学んできたことを見つめなおし、効果的な表現活動を行えるように配慮しています。</p> <p>④ メールの書き方を例に示すことでデジタルデバイスでの書き方を意識できるように配慮しています。</p> <p>⑤ 付録の扉に活用ガイドを付した日本語訳例を掲載し、音読や書き取りなど、生徒自らがさまざまな使い方で活用できるように配慮しています。</p>	<p>① 「英語でよりよく表現するには(やり取り)」 pp.6-7</p> <p>② 「英語でよりよく表現するには(発表)」 pp.8-9</p> <p>③ 「英語でよりよく表現するには(書くこと)」 pp.10-13</p> <p>④ p.80</p> <p>⑤ pp.81-103</p>

#### ② 教育の ICT 化への取り組み

図書の構成・内容	留意点	該当箇所
全体	<p>① 各 Lesson のモデル文に付した二次元コードを機器で読み取ることで、手軽にモデル文と重要フレーズの音声を聞けるため、学校でも家庭でも音声を活用した学習ができます。なお、音声には URL からアクセスできます。</p> <p>② 「やり取り」「発表」を中心に扱う Lesson では、モデル文に付した二次元コードを機器で読み取ることで、手軽に当該 Lesson のモデル文の動画を視聴することができるため、学校でも家庭でも動画を活用した学習ができます。なお、動画には URL からアクセスできます。</p>	<p>① 各 Lesson の Model</p> <p>② Lesson 1, 4, 7, 10</p>

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-42	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	論Ⅲ701	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅲ		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ■全体構成

- ・「やり取り」「発表」「書くこと」の3領域のバランスに配慮して、全体を10のLessonで構成しています。  
海外からの留学生を交えた高校生の学校生活の場面を通して、コミュニケーションを学べるようにしています。  
さまざまな話題について、技能ごとに学習することで、論理・表現Ⅰ、Ⅱで培ってきた発信力をより強化できるようにしています。すべてのLessonで状況を明確に設定し、生徒がコミュニケーションの目的や場面を明確に意識しながら言語学習を進めることができるようにしています。また、コミュニケーションのモデルとしてふさわしい英語を提示し、より実践的な表現に触れることができるようにしています。
- ・活用と確認のためのパートとして、Unit以外に、英語で表現する際の注意事項などを各領域別に実例を交えながら示し、活動を行うパートを巻頭に設置しています(巻頭「英語でよりよく表現するには」)。また、巻末には、活用ガイドつき「スクリプト・日本語訳例」を設置し、表現活動の幅を広げることができるようにしています。

### ■各パート

#### ① 英語でよりよく表現するには

- ・「やり取り」「発表」「書くこと」の各領域において「表現する」際の注意事項を実例でわかりやすく示すことで、Ⅰ、Ⅱで学んできたことを見つめなおし、効果的な表現活動を行えるように構成しています。

#### ② Lesson 1-9

##### a. Warm-up

- ・Lessonのテーマに関する会話やコマーシャルなどを聞く活動などに取り組むことで、Lessonの内容への興味、関心を高められるようにしています。

b. Give It a Try

- LessonのModelに取り組む前に、まず英語での発信に、ペアやグループなどで取り組むことで、みずからの英語力の現状を把握し、コミュニケーションやModelの内容への関心、意欲を喚起できるようにしています。

c. Model

- Lessonの内容に関連するコミュニケーションのモデルです。TIPSでは、英語の論理や表現を学習することができます。また、コミュニケーションには欠かすことができない、質問する力を育成するための活動を用意しました。

d. Materials for Thinking

- Lessonの最終タスクであるMake Your Ownに向けて、Modelと同様のテーマに関するさまざまな情報に触れるためのパートです。自分ごと化の支援、そして自らの意見の表明に必要な情報を取捨選択する力を養えるように工夫しています。

e. Make Your Own

- Lessonの最終タスクである自己表現活動です。Give It a TryやModelでのコミュニケーション活動を通じて、みずからの発信力の上達を実感できるように工夫しています。

③ Lesson 10 (ディベート)

a. Brainstorming

- Lesson 10 で扱う2つのディベートのトピックについてのブレインストーミングで興味、関心を高められるようにしています。

b. Model

- ブレインストーミングで扱った1つめのトピックについてのディベートのモデルです。賛成・反対の両方の立場のスピーチモデルのうち、一方はテキストを表示し、もう一方は音声または動画で提示することで、より臨場感を持たせるように工夫しています。また、メモの実例を示すことで、メモの取り方について学習することができます。

c. Make Your Own

- ブレインストーミングで扱った2つめのトピックについてのディベートの

活動です。Modelを参考にしながら、異なるトピックについてディベートが行えるように工夫しています。

#### ④ スクリプト・日本語訳例

- ・日本語と英語の対応を見るだけでなく、音読や書き取りなどにも利用できるように付録の扉に活用ガイドを付し、さまざまな活用のヒントになるように工夫しています。

#### ⑤ コラム（メールの書き方）

- ・メールの書き方を例に示すことで、デジタルデバイスでの書き方を意識できるように工夫しています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数
	2 内容	3 内容の 取扱い		
英語でよりよく表現するには	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ	3	6-13	4
Lesson 1	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ (3) ①ア, イ(ア)(イ), ②ア(ア)(イ), イ(エ)(オ)	3	14-19	4
Lesson 2	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ (3) ①ア, エ(ア)(イ), ②ア(ア)(イ)(ウ), イ(イ)(ウ)	3	20-25	4
Lesson 3	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ (3) ①ア, エ(ア)(イ), ②ア(ア)(イ), イ(オ)	3	26-31	4
Lesson 4	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ (3) ①ア, ウ(ア)(イ), ②ア(ア)(イ), イ(エ)	3	32-37	4
Lesson 5	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ (3) ①ア, エ(ア)(イ), ②ア(ア)(イ), イ(ウ)	3	38-43	4
Lesson 6	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ (3) ①ア, エ(ア)(イ), ②ア(ア)(イ), イ(ウ)	3	44-49	4
Lesson 7	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ (3) ①ア, ウ(ア)(イ), ②ア(ア)(イ), イ(ウ)(オ)	3	50-55	4
Lesson 8	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ (3) ①ア, エ(ア)(イ), ②ア(ア)(イ), イ(ア)(ウ)(オ)	3	56-61	4
Lesson 9	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ (3) ①ア, エ(ア)(イ), ②ア(ア)(イ), イ(ウ)(エ)(オ)	3	62-67	4
Lesson 10	(1) ア(ア)(イ) (2) ア, イ (3) ①ア, イ(ア)(イ), ②ア(ア), イ(ウ)(エ)(オ)	3	68-79	10
メールの書き方	(1) ア(ア)(イ)	3	80	0
スクリプト・日本語訳例	(1) ア(ア)(イ)		81-103	0
			計	50